

# 群馬大学合格 ～傾向と対策(概)

## 1. 〔 英語 〕 の入試傾向と受験対策

- ◎ 群馬大学教育学部の英語の出題傾向と対策は、以下の通りです。  
大問が3題、制限時間は120分。  
問題の傾向は毎年少し変わり、英作文・和訳・長文読解・リスニングの出題は固定です。  
どんな形式がきても対応できる力が必要です。
- ◎ 社会情報学部の英語の出題傾向と対策は、以下の通りです。  
大問が3題、制限時間は120分。  
英作文・和訳・長文読解は固定です。  
英文そのものの難易度はそこまで高くないですが、共通テストよりは難しい。ですので、まず文法をしっかり習得する。  
長文読解をこなす、英作文をこなす等の基礎学力を養う必要があります。
- ◎ 理工学部の英語の出題傾向と対策は、以下の通りです。  
制限時間は50分。  
問題の傾向は少し変わりますが、英作文・和訳・長文読解と固定です。  
まず、文法をしっかり習得すること。英作文は基本的に和文英訳、記述や要約問題にも慣れておくことが必要です。



## 2. 〔 数学 〕 の入試傾向と受験対策

- ◎ 群馬大学の数学の出題傾向と対策は、以下の通りです。  
大問が5題、時間は120分。  
難易度は、基礎、標準的な問題が多い。  
苦手範囲を作らないことが大事。  
分野の偏りは少ない。記述力を鍛える。  
まず、基礎的な総合力を養うことが大切。
- ◎ 医学部の数学の出題傾向と対策は、以下の通りです。  
大問数が5題です。解答は全て記述式です。  
標準レベルの問題を素早く正確に解けるようにしておくことが大切です。  
出題分野ですが、「図形と式」「微分・積分」「空間図形」「数列」「指数・対数」「整数問題」「確立」「複素数」といったように、幅広い分野からの出題となっております。  
全範囲について万遍なく、バランスよく準備しておきましょう。

